

舗装個別施設計画

令和元年6月

田野畑村

【目 次】

1. 舗装の現状と課題	1
1-1. 管理延長の現状	1
1-2. 舗装の現状	1
2. 舗装の維持管理の基本的な考え方	3
2-1. 舗装管理の基本方針	3
2-2. 管理道路の分類(グループ分け)	3
2-3. 管理基準	4
2-4. 点検方法・点検頻度	4
3. 計画期間	5
3-1. 計画期間	5
3-2. 計画期間内の修繕費用の見直し	5
4. 対策の優先順位(補修計画の方針)	5
5. 舗装の状態、対策内容、実施期間	5
5-1. 診断結果	5
5-2. 対策内容と実施時期	5

1. 舗装の現状と課題

1-1. 管理延長の現状

田野畑村は平成 30 年 4 月現在、約 185km の道路を管理しています。

管理延長の種類別延長は以下のとおりです。

種類別の延長(単位：m)

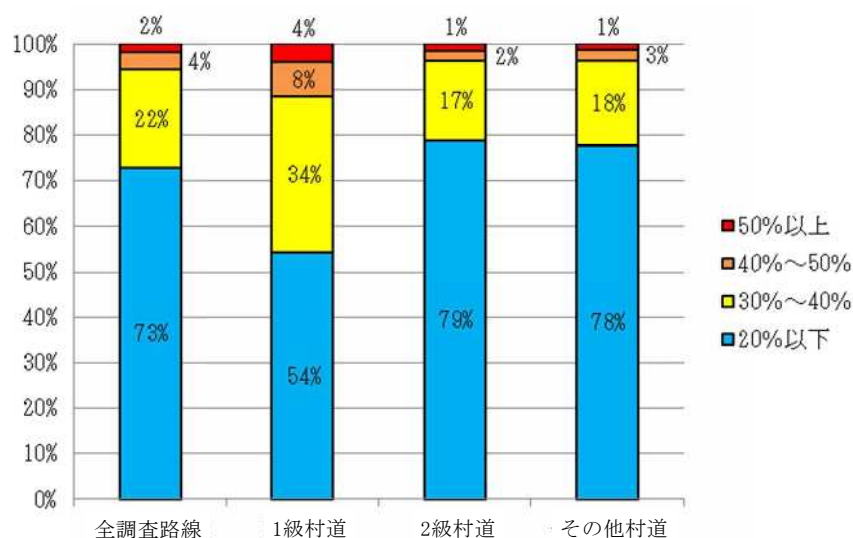
道路種別	未舗装	セメント系	アスファルト	簡易アスファルト	軽舗装	合計
1 級村道	1,803.0	58.0	9,651.0	18,495.0	2,346.0	32,353.0
2 級村道	15,915.0	919.0	5,808.0	21,030.0	0.0	43,672.0
その他村道	19,208.0	1,511.0	20,444.0	59,771.0	7,870.0	108,804.0
合 計	36,926.0	2,488.0	35,903.0	99,296.0	10,216.0	184,829.0

道路現況調査表(平成 30 年 4 月)

このうち、本計画では約 150km を対象とした舗装維持管理計画を策定しました。

1-2. 舗装の現状

(1) 舗装のひび割れ状況

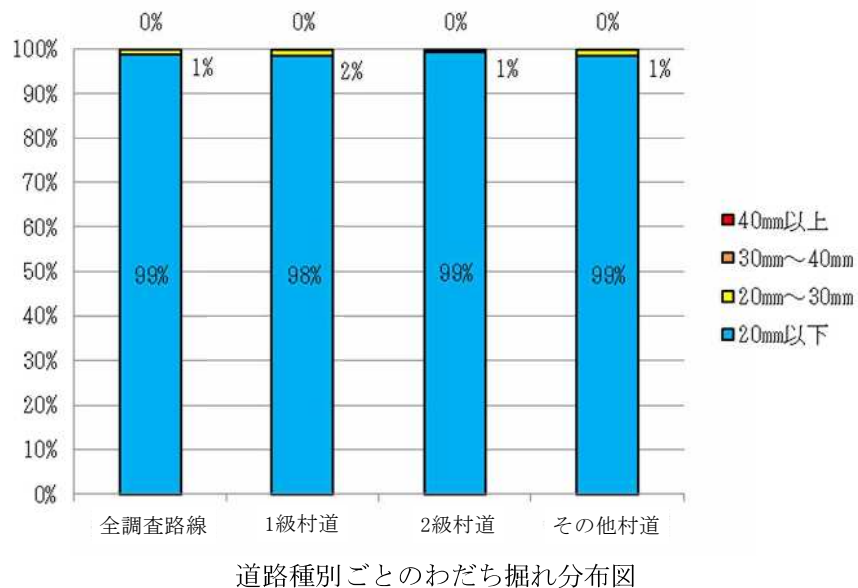


道路種別ごとのひび割れ分布図

道路種別ごとの平均ひび割れ率は、1 級村道で 20.9%、2 級村道で 12.7%、その他村道で 14.0% であります。対象路線全体の平均ひび割れ率は 15.2% を占めております。

損傷が大きいひび割れ率 40% 以上の路線延長は、1 級村道で 3,865m(11.6%)、2 級村道で 1,010m(3.8%)、その他村道で 3,335m(3.7%) が現状です。

(2) 舗装のわだち掘れ状況



道路種別ごとの平均わだち掘れ量は、1級村道で8.1mm、2級村道で6.2mm、その他村道で6.9mmであります。対象路線全体の平均ひび割れ率は7.0mmであります。

対象路線全体では、損傷が大きい40mm以上に該当する箇所は存在していません。

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2-1. 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、限られた予算の中で効率的かつ効果的な道路舗装の維持管理を実現することを目的とします。

策定にあたっての基本方針を以下のとおりです。

- ・ 調査、診断結果を有効的に活用し計画を策定する。
- ・ 効率的かつ効果的な維持管理のため、補修箇所および補修工法を適切に計画する。
- ・ 路線の優先度を設定し、長寿命化を意識した補修工法を設計し実施する。

2-2. 管理道路の分類(グループ分け)

道路の役割や性格、修繕実施の効率性、管理体制等の観点から、道路の分類を以下の様に分類します。

分類分けのイメージ

分類	対象道路
分類Bの道路	損傷の進行が早く、公共性が高いなどサービス水準が高い道路
分類Cの道路	損傷の進行が緩やかで、大型車交通量が少ない道路
分類Dの道路	生活道路などの損傷の進行が極めて遅く、占用工事などの影響が無ければ長寿命な道路

本計画では以下の管理道路の分類分けの基で計画を行います。

管理道路の分類

分類	対象道路
分類Bの道路	・ 1級村道 ・ 2級およびその他村道で2車線道路および防災性・機能性路線
分類Cの道路	・ 2級村道の1車線道路
分類Dの道路	・ その他村道の1車線道路および生活路線(団地内路線)

道路の特性分類

特性	対象路線
防災性	・ 緊急指定路線 ・ 防災上重要な施設 ・ 国道へ接続する路線
機能性	・ 公共施設および学校 ・ 駅およびバス路線 ・ 観光施設、イベント会場への接続区間

2-3. 管理基準

田野畑村では、維持修繕の要否を判断する評価値である MCI を採用します。

分類 B の路線は、修繕が必要とされる MCI4.0 以下から補修を行うこととし、長寿命化の観点から維持工法としてシーラ材注入を実施する。早急に修繕が必要とされる MCI3.0 以下から補修工法として、切削 OL あるいはアスコン打換えにて表層を更新し、MCI2.0 を下回れば路盤から補修を行い、舗装を構築することとします。

田野畑村における管理基準

MCI	分類 B	分類 C
0.0～2.0	路盤打換え(路上路盤再生)	路盤打換え(路上路盤再生)
2.0～3.0	切削オーバーレイ	切削オーバーレイ
3.0～4.0	シーラ材注入	
4.0～5.0	日常管理	
5.0 以上		

2-4. 点検方法・点検頻度

点検方法は、国土交通省道路局が平成 28 年 10 月に策定している舗装点検要領に準じて、下記に示す点検方法を設定します。

表 2-8. 点検方法

項目	点検方法	点検頻度
分類 B の道路	路面性状調査車(検定車または簡易測定車)	5 年に 1 度
分類 C の道路	同上	10 年に 1 度
分類 D の道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

3. 計画期間

3-1. 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、5年間とします。

3-2. 計画期間内の修繕費用の見直し

これまでの点検結果を基に、今後5年間の修繕費をシミュレーションします。

予算シミュレーションでは、以下に示す内容を仮定し実施した。

4. 対策の優先順位(補修計画の方針)

舗装破損状況、路線の重要性、交通量等を考慮し優先順位を決定した結果、平成28年の10号台風により被災復旧で利用された鉄山線および目名線、田代地区を結ぶ幹線路である沼袋田代線、公共施設周辺での破損が著しい南大真木1号・2号線や菅窪和野線を第一優先路線として計画します。

5. 舗装の状態、対策内容、実施期間

5-1. 診断結果

補修対象路線の調査結果より、管理基準に示したMCIを基準に判定した結果、以下の通りです。

対象路線における舗装の状態

分類	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	
			Ⅲ-1	Ⅲ-2
分類Bの道路	11,950	6,110	2,015	2,015
分類Cの道路				
分類Dの道路				
合計	11,950	6,110	2,015	2,015

5-2. 対策内容と実施時期

優先的に修繕を実施する必要がある区間として、直近の5ヶ年の補修箇所の計画を示します。

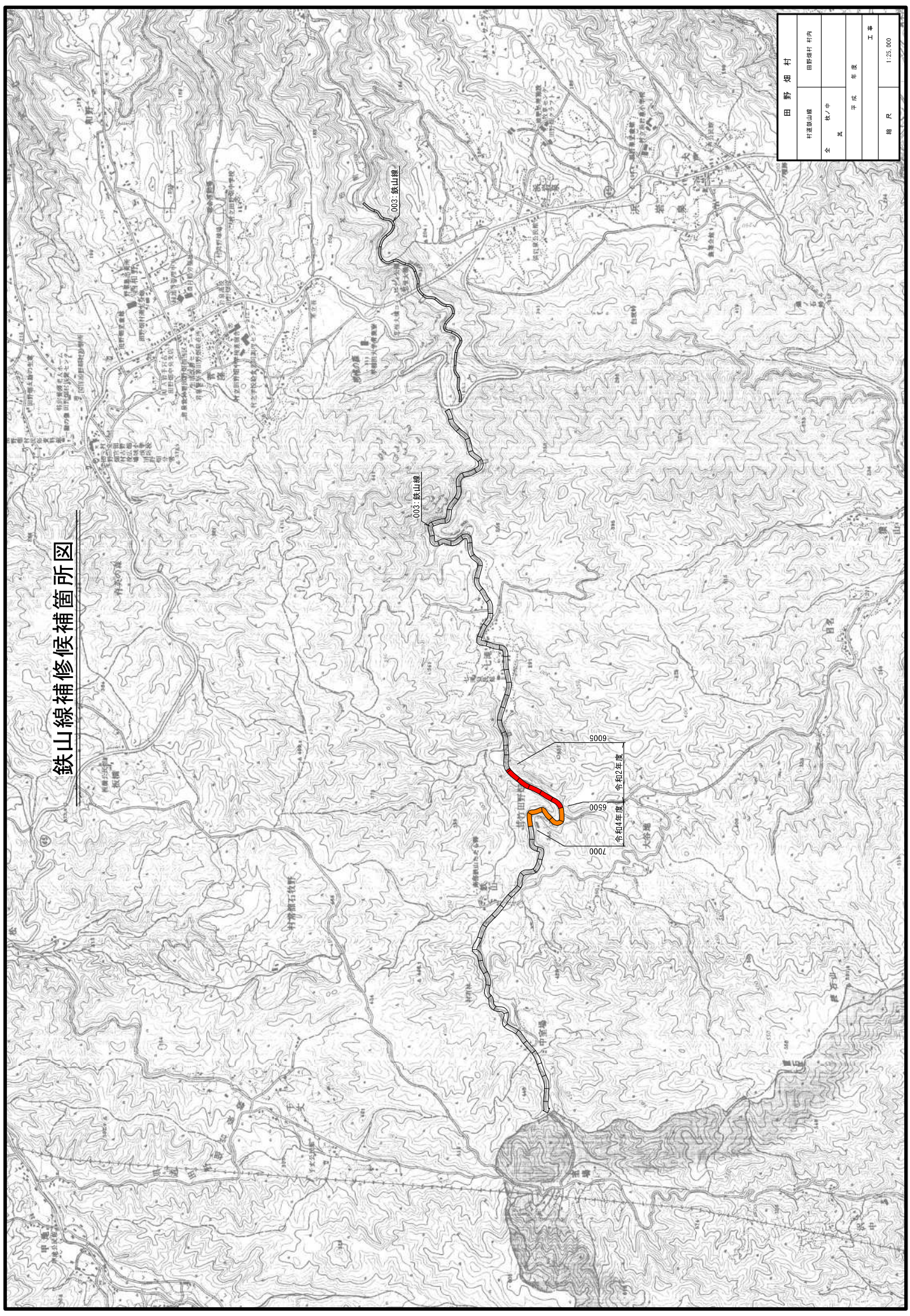
補修実施にあたっては、舗装点検要領に記載されているように、処置に該当する区間のうち必要箇所を抽出し、詳細調査を実施した上で補修工法および断面を決定します。

適切な補修断面により修繕の間隔を延ばし、長寿命化・ライフサイクルコスト削減に向けた舗装の効率的な修繕の実施に繋がります。

補修箇所一覧

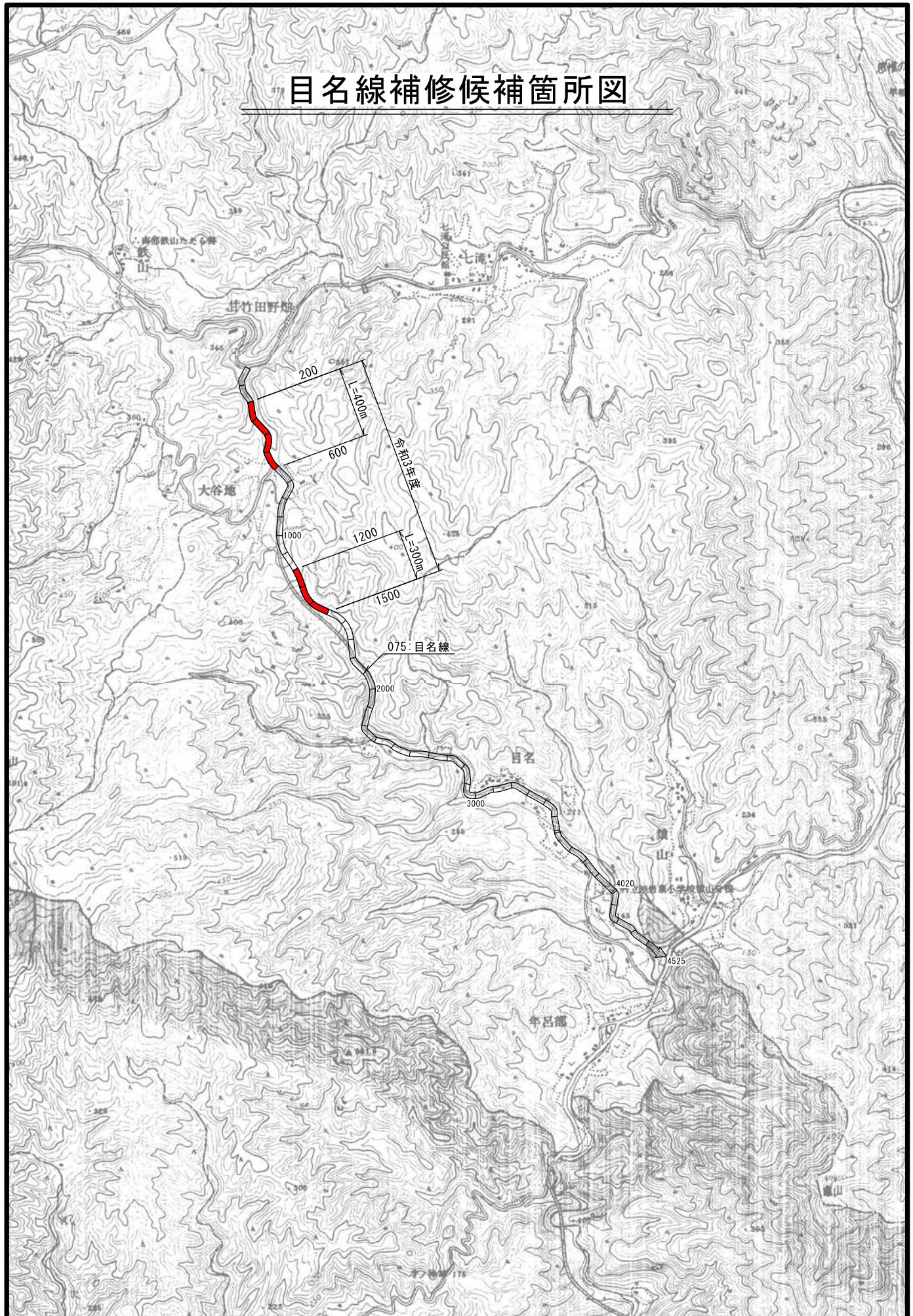
番号	分類	路線名	道路種別	場所	補修延長	点検実施時期	修繕内容	修繕時期
1	B	鉄山線	1級	田野畑村 七滝	L=495m	平成26年度	全層打換え	令和2年
2	B	目名線	その他	田野畑村 室場	L=400m	平成26年度	全層打換え	令和3年
3	B	目名線	その他	田野畑村 室場	L=300m	平成26年度	全層打換え	令和3年
4	B	鉄山線	1級	田野畑村 七滝	L=500m	平成26年度	全層打換え	令和4年
5	B	沼袋田代線	1級	田野畑村 田代	L=830m	平成26年度	全層打換え	令和5年
6	B	菅窪和野線	2級	田野畑村 松前沢	L=200m	平成26年度	全層打換え	令和6年
7	B	南大真木1号線	その他	田野畑村 松前沢	L=100m	平成26年度	全層打換え	令和6年
8	B	南大真木2号線	その他	田野畑村 松前沢	L=300m	平成26年度	全層打換え	令和6年

鉄山線補修候補箇所図

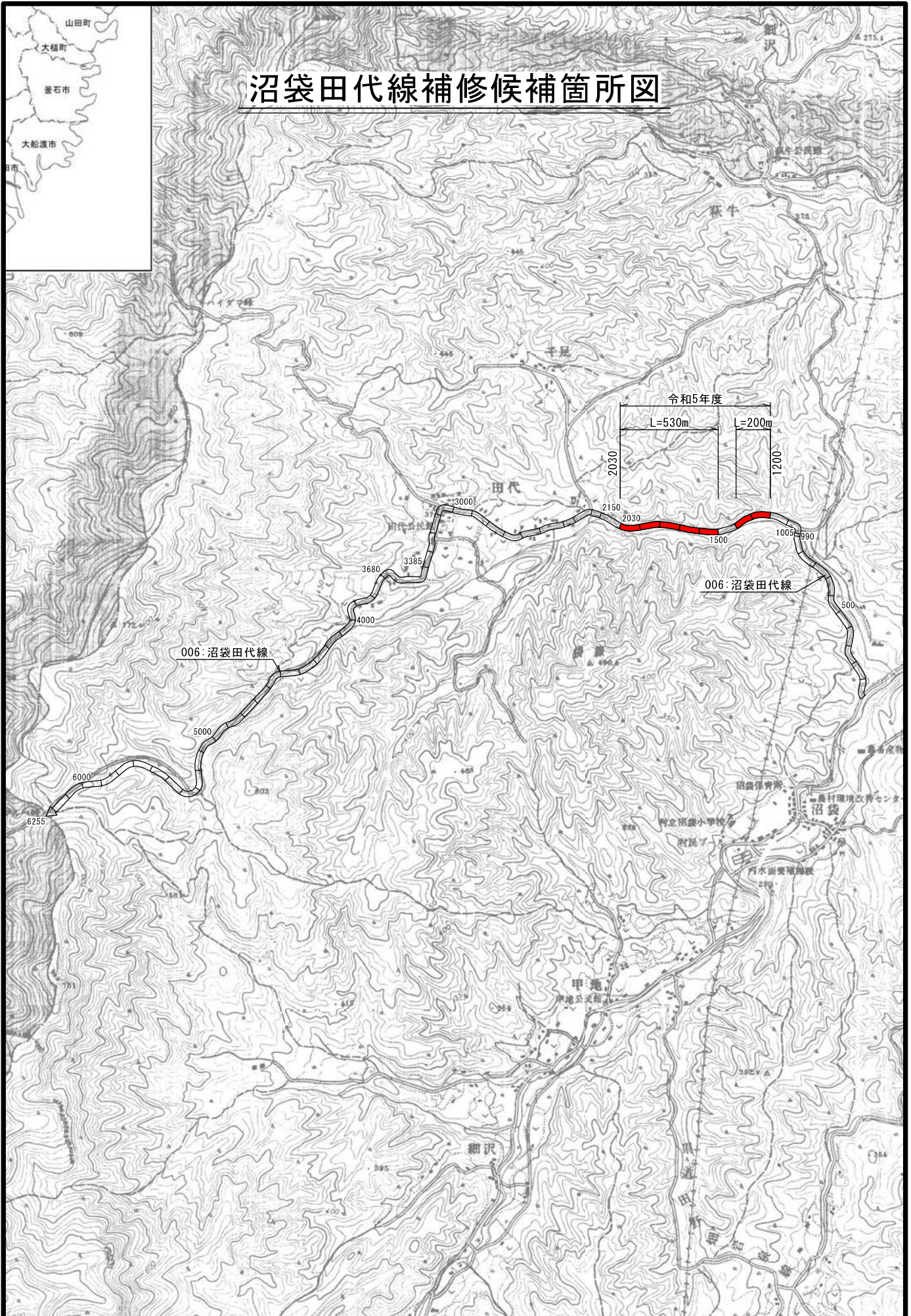


田野畑村	
村道線図	田野畑村内
全 尺	概ノ中
縮 尺	平成 年度
	工 務
	1:25,000

目名線補修候補箇所図



沼袋田代線補修候補箇所図



補修候補箇所図

菅窪和野線・南大真木1号線・南大真木2号線

